

再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム
疾患特異的 iPS 細胞の利活用促進・難病研究加速プログラム
研究開発課題評価(令和 7 年度実施)
事後評価結果

研究開発課題名	自然免疫異常症に対する包括的 iPS 細胞バンクの構築
代表機関名	京都大学
研究開発代表者名	八角 高裕

【評価コメント】

自然免疫異常症分野の疾患特異的 iPS 細胞バンク充実に向けて、当初の目標を超える数の研究同意を得て iPS 細胞株を樹立し、寄託準備までを行った。

一方で、研究開発期間内に締結書類が確定しなかったため、理研 BRC への細胞寄託の手続きを行う事が出来ていない。状況は理解できたが、契約に掛かる問題が生じた開発初期から、認識の相違を是正する方策を講じる必要があったと思われる。

本研究終了後も、付随情報の登録も含めた寄託作業の確実な完了を徹底いただきたい。

樹立した iPS 細胞株を用いた疾患病態解析の新知見(pyrin インフラマソーム形成に於ける CDC42 の役割と炎症病態形成メカニズム)は、pyrin 関連自己炎症性疾患の病態解明に繋がる事が期待される。研究開発期間中の論文化に至らなかったが、論文化を進め、公表を進めていただきたい。